

# 山田高8強逃す



〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番99号  
東奥日報社  
電話 017-739-1111  
(C)東奥日報社 2006

インターネット  
号外

ご購入のお問い合わせは  
東奥日報社販売局



0120-4615939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

## 駒大苦に逆転サヨナラ負け



▽3回戦

山田高	0	4	2	1	0	0	1	1
駒大苦	0	1	0	1	0	2	1	3
							2X	
								10
								9

▽本塁打 野田(山) 鷺谷、中沢(苦)  
 (山)野田—大東(苦)岡田、菊地、田中—小林

第88回全国高校野球選手権大会第10日は15日、甲子園球場で3回戦を行った。本県代表の山田高は序盤の6点のリードを守りきれず、大会3連覇を目指した南北海道代表の駒大苦小牧に九回9点逆転サヨナラ負けを喫した。

駒大苦小牧の先発は主戦手の中野は二回、その岡田を攻略した。まず先頭の松本が四球を選び、続く大東が手堅く送りバント。この好機に本田が左中間に二塁打を打ち先制。さらに口羽の左前打でチャンスを広げ、二死から野田が左翼に3点本塁打を打ち、この一回挙4点を奪った。

三回には岡田を継投した菊地、田中を攻め2点を追加。試合を優位に進め、一時はリードを6点に広げた。

しかし、中盤以降は駒大苦小牧のペース。山田高の主戦手野田はボールが高めに浮いたところを狙われ、8回8点には3点を奪われた。8回の同点追いつかれた。

直後の九回、山田高は左翼線、二塁打の近藤をバントで送り、二死から大東の右前打で1点を勝ち越し。しかしその裏、野田が中沢に右翼スタンドに運ばれ同点。さらに二死から長短2安打を浴びサヨナラ負けを喫した。

【駒大苦小牧 山田高】2回表山田高1死二塁、本田が左中間に先制の二塁打を放つ。捕手小林=甲子園

詳細はこちら